

2 林業部門

1) 林業を担う経営体（林業経営体）

本県の林業経営体は**340**経営体となっており、保有林規模別では、集約化が進み**30ha**以上の経営体が総数の**41%**を占め、前回調査より**18**ポイント高くなっている。また、組織形態別では、法人化していない経営体が**79%**を占めている。

保有山林規模別 林業経営体数

	3ha未満	3ha～5ha	5ha～10ha	10ha～20ha	20ha～30ha	30ha～50ha	50ha～100ha	100ha以上	保有山林無し	合計
林業経営体数	4	36	62	58	30	26	37	77	10	340
割合(%)	1.2	10.6	18.2	17.1	8.8	7.6	10.9	22.6	2.9	100.0

(2020年農林業センサス)

組織形態別 林業経営体数

	森林組合	その他法人	地方公共団体 ・財産区	法人化 していない	株式会社	合計
林業経営体数	21	9	12	271	27	340
割合(%)	6.2	2.6	3.5	79.7	7.9	100.0

(2020年農林業センサス等)

林業経営体数

令和2年	全国	和歌山		全国順位			
		順位	シェア(%)	1位	2位	3位	
林業経営体数	34,001	340	35	1.0	北海道	宮崎	岩手

(2020年農林業センサス)

2) 森林資源・林業生産基盤

地域別・森林面積（令和4年4月1日現在）

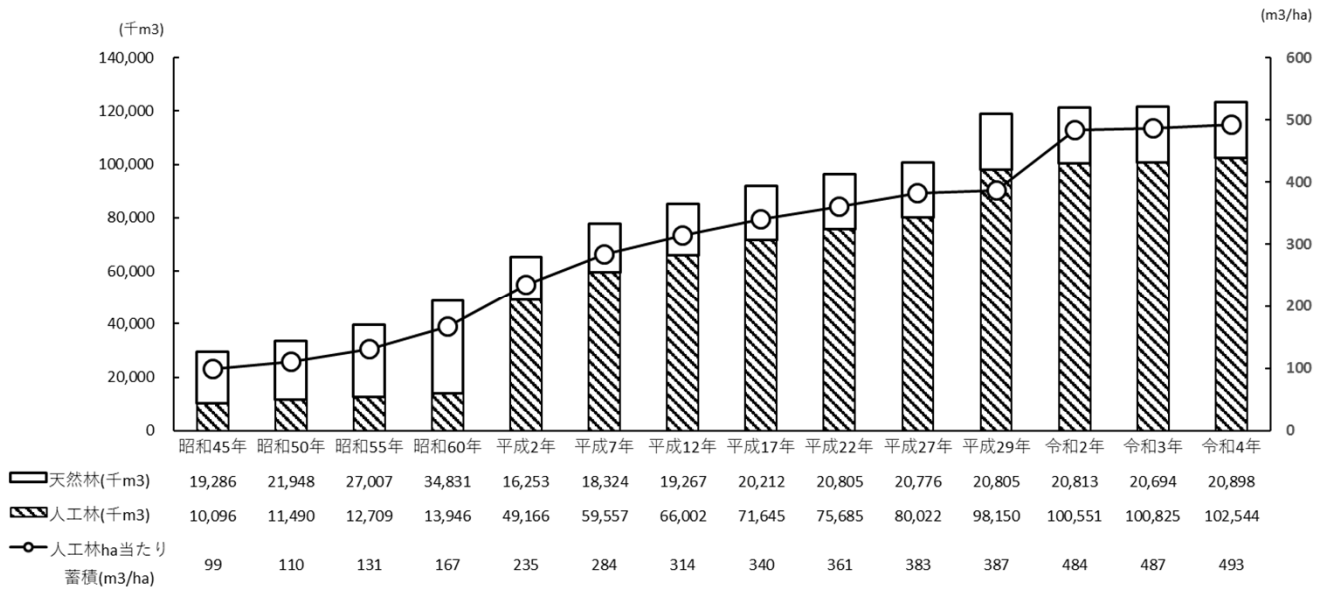
県の森林面積361,116haのうち、国有林は4.7%、民有林は95.3%です。県の森林面積の57.6%が人工林です。

	海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁	全県
森林面積合計(ha)	20,103	12,044	33,316	33,237	51,598	126,876	83,993	361,116
国有林(ha)	436	273	2,219	695	1,907	8,991	2,580	17,101
民有林(ha)	19,667	11,771	31,096	32,542	49,691	117,835	81,413	344,015
人工林(ha)	7,885	5,674	22,780	21,736	24,461	78,348	47,281	208,165
天然林(ha)								129,022
その他(ha)								6,828

（県林業振興課業務資料）

森林資源（私有林蓄積）の推移（地域森林計画対象森林：343,370ha）

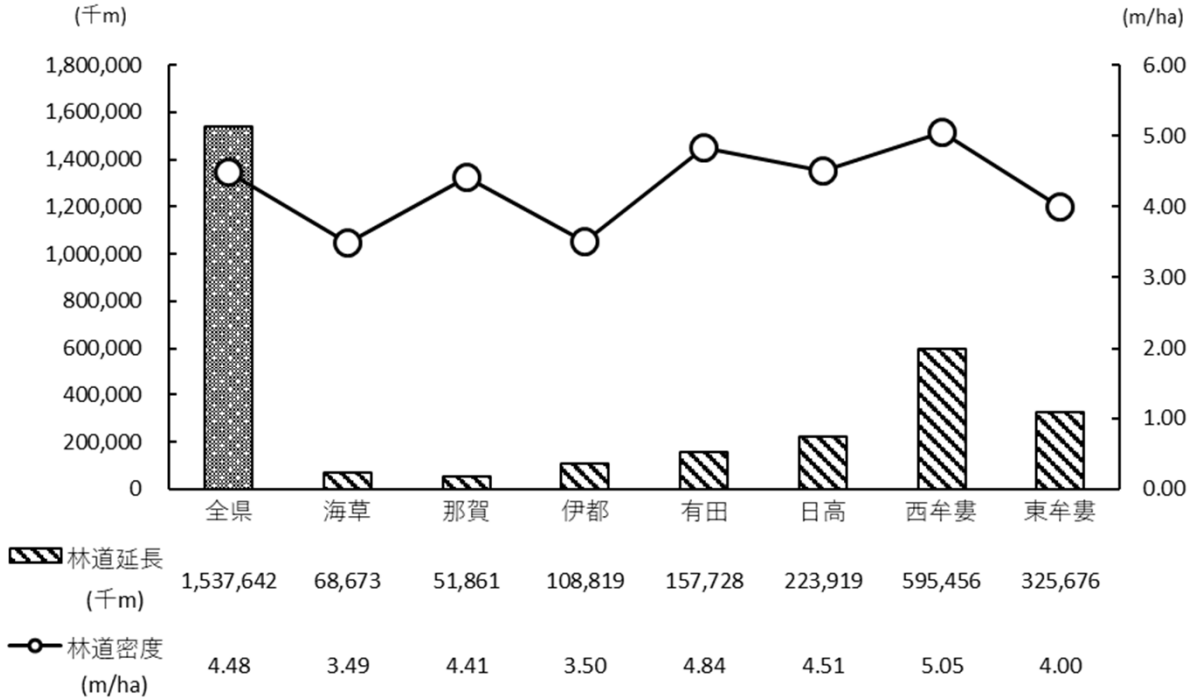
戦後植林された森林資源が成熟している。



※平成29年に人工林（スギ・ヒノキ）に関する林分材積表等各種資料の改訂を行ったため、人工林材積が大幅に変化している。（県林業振興課業務資料）

地域別私有林林道延長及び林道密度（令和4年3月31日現在）

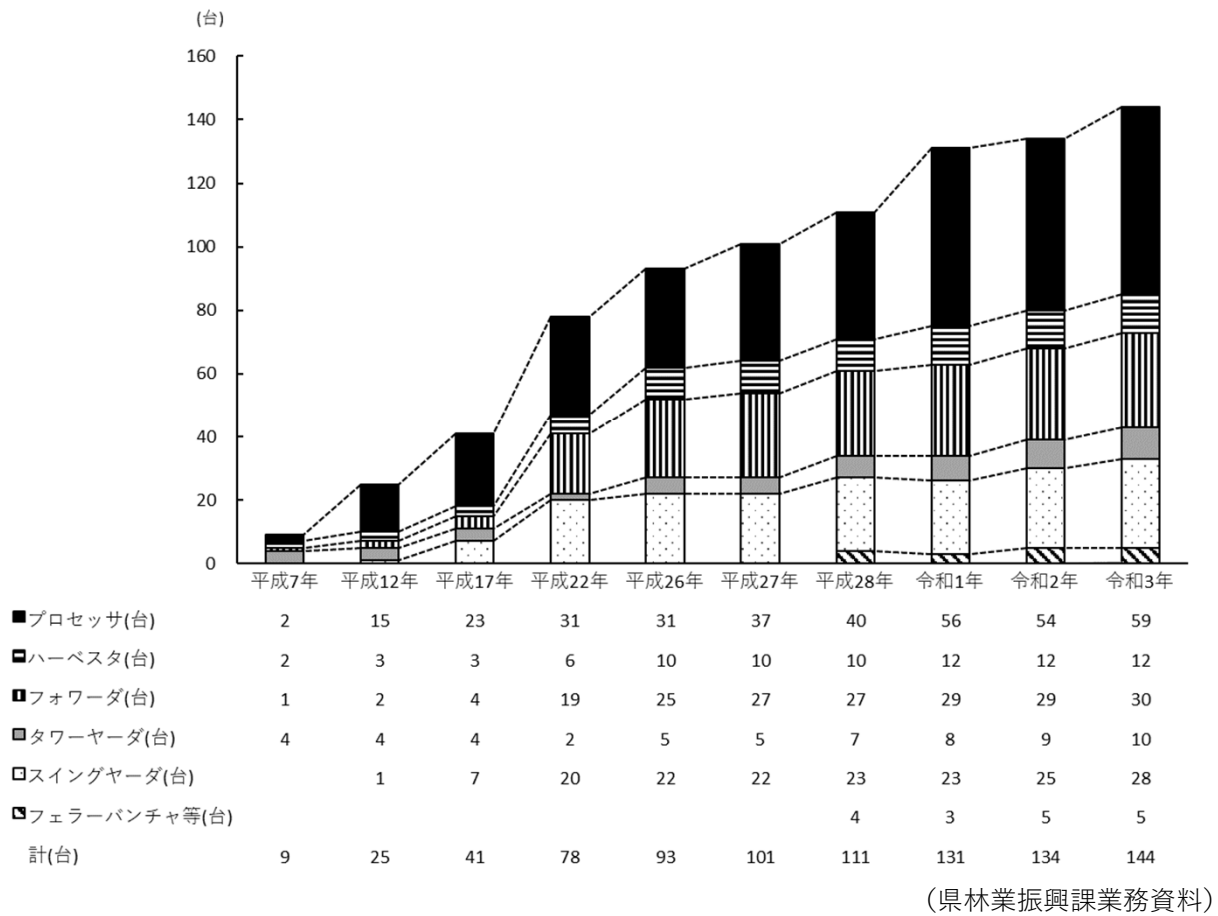
生産コストの縮減をはかるため、林道密度を高める必要がある。



（県林業振興課業務資料 令和4年3月31日現在）

高機能林業機械保有台数（令和4年3月31日現在）

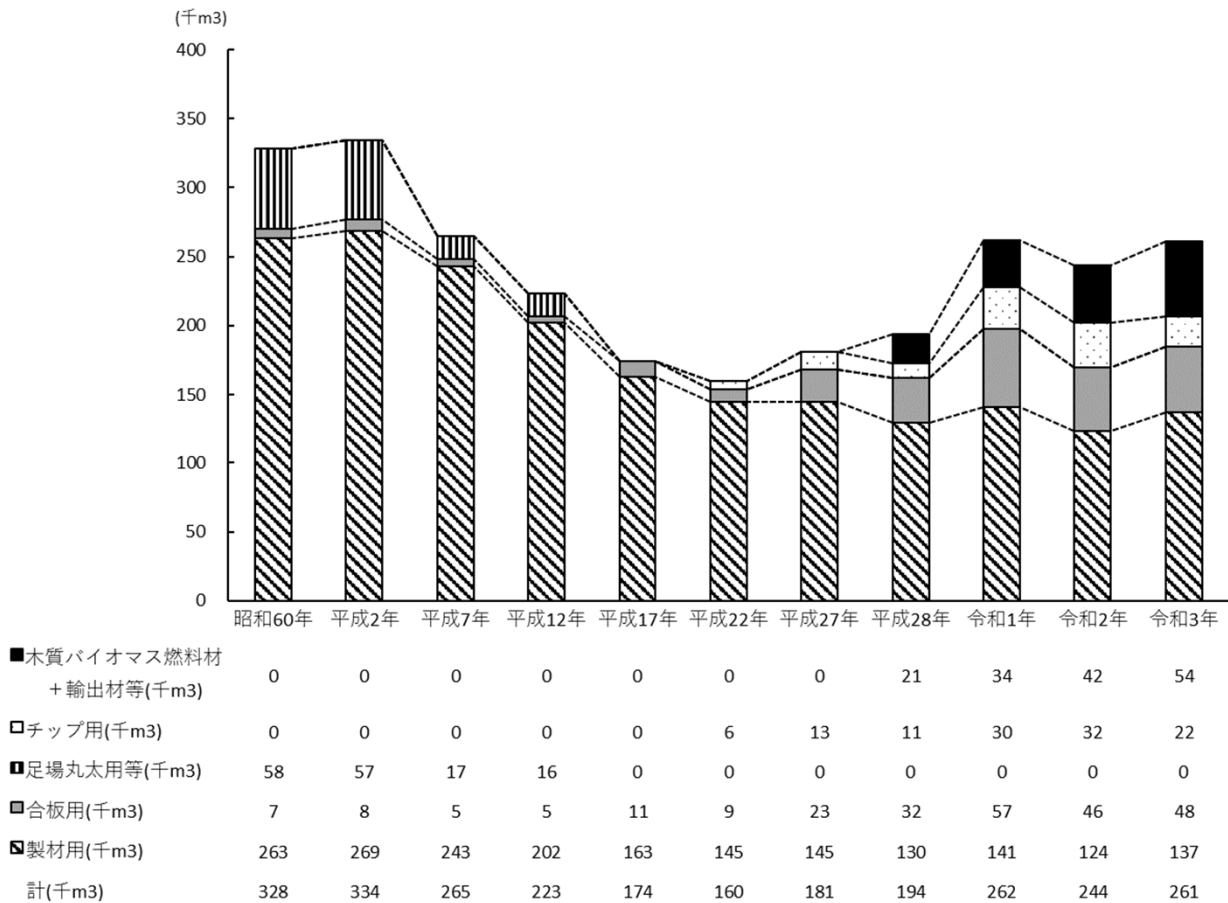
低コスト林業を推進するため、高性能林業機械の導入を進めている。



3) 林業生産

令和3年度は、前年度より製材用や木質バイオマスなどの用途が増えたことから、新型コロナの影響を受けていた木材生産活動が回復傾向にある。

用途別素材生産量の推移



※平成28年から木質バイオマス燃料材+輸出材等を集計に追加しました。

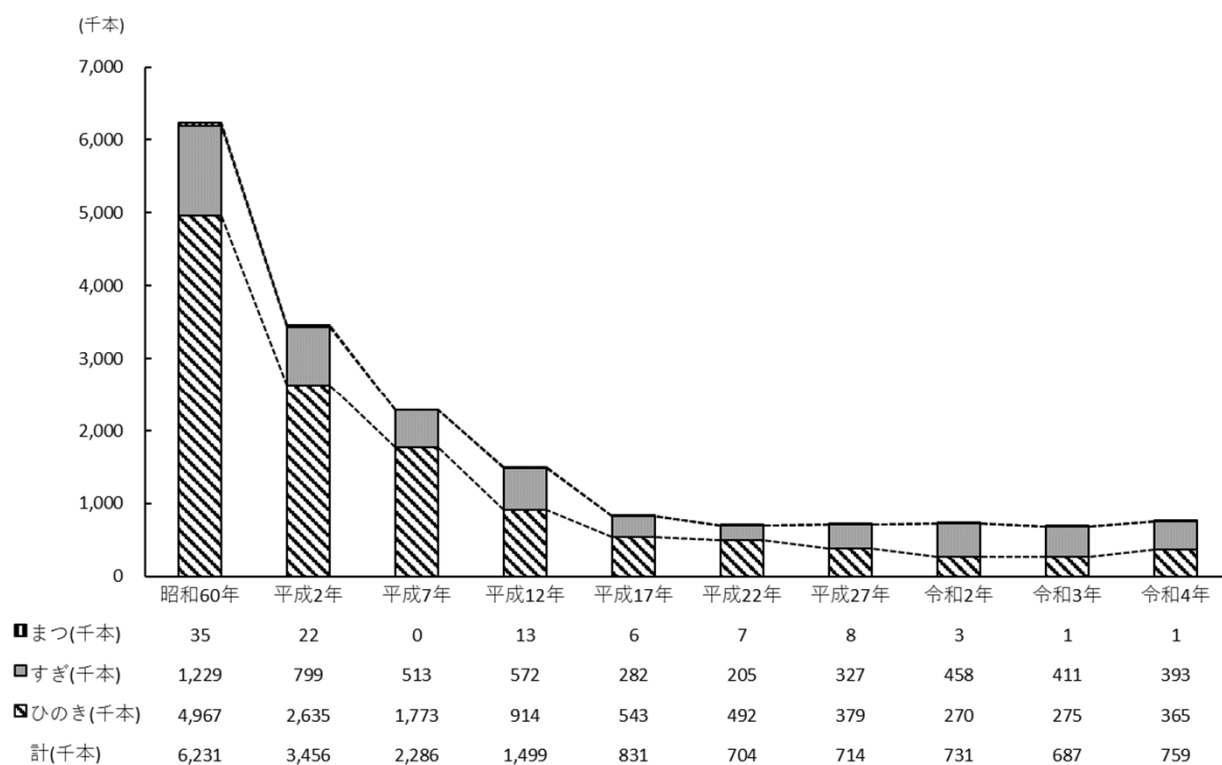
(木材需給報告書、木質バイオマスエネルギー利用動向調査、県林業振興課業務資料)

樹種別素材生産量 (令和3年)

	針葉樹			広葉樹	合計
	計	すぎ	ひのき		
素材生産量(千m ³)	253	153	100	7	260
割合(%)	97.3	58.8	38.5	2.7	100.0

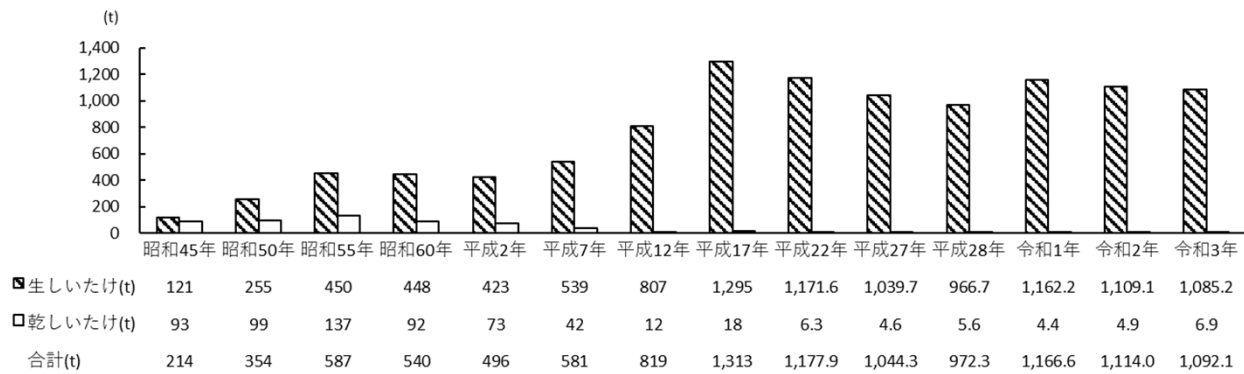
(県林業振興課業務資料)

山用種苗生産本数の推移



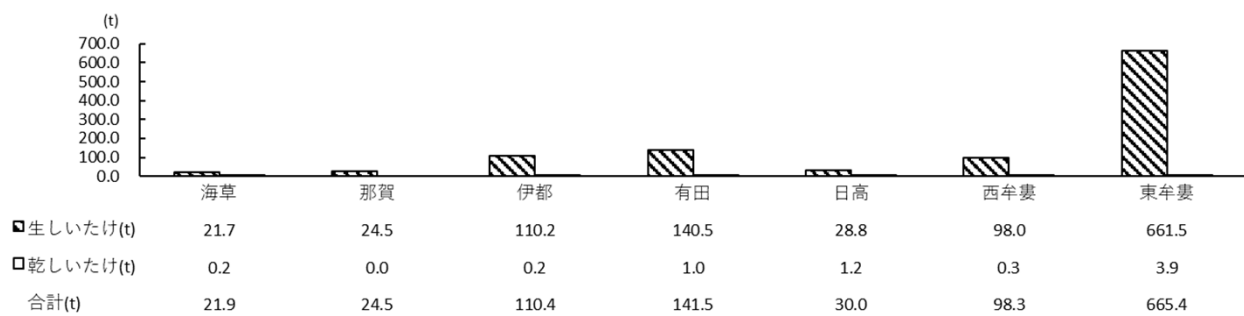
(県林業振興課業務資料)

しいたけ生産量の推移

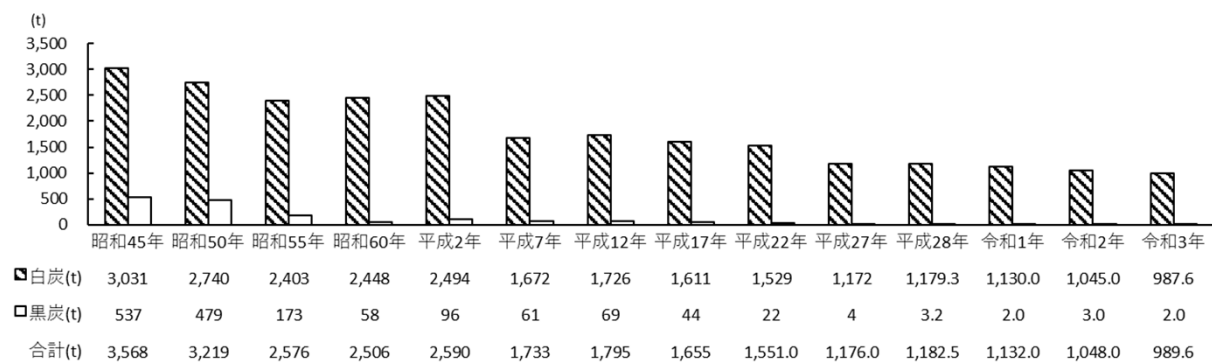


(昭和45年～平成17年は四捨五入で整数にしている。)

地域別・しいたけ生産量 (令和3年)

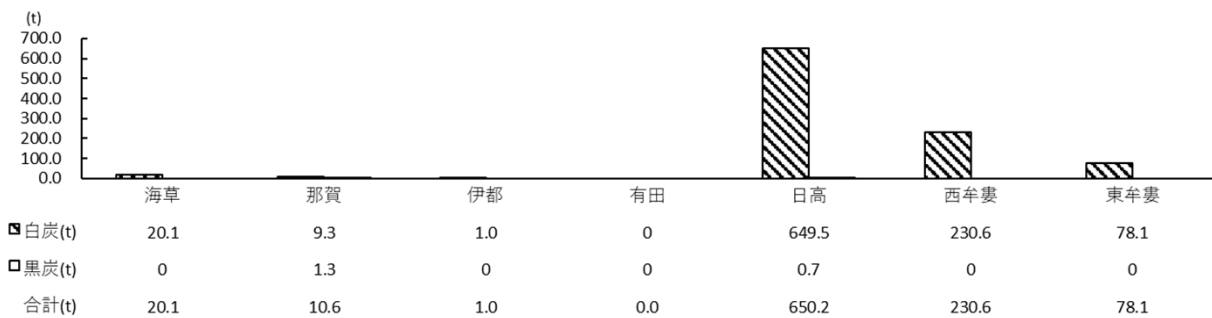


木炭生産量の推移



(昭和45年～平成27年は四捨五入で整数にしている。)

地域別・木炭生産量 (令和3年)

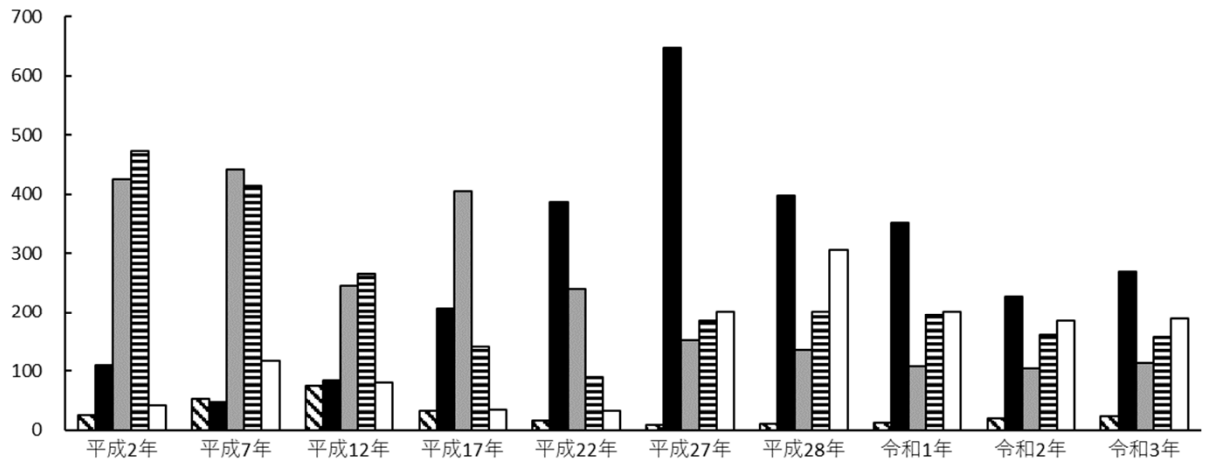


(県林業振興課業務資料)

木材による収入が減少する中、副収入源であった特用林産物の収入に占める割合が増加してきた。

その他の特用林産物生産量の推移

(t)

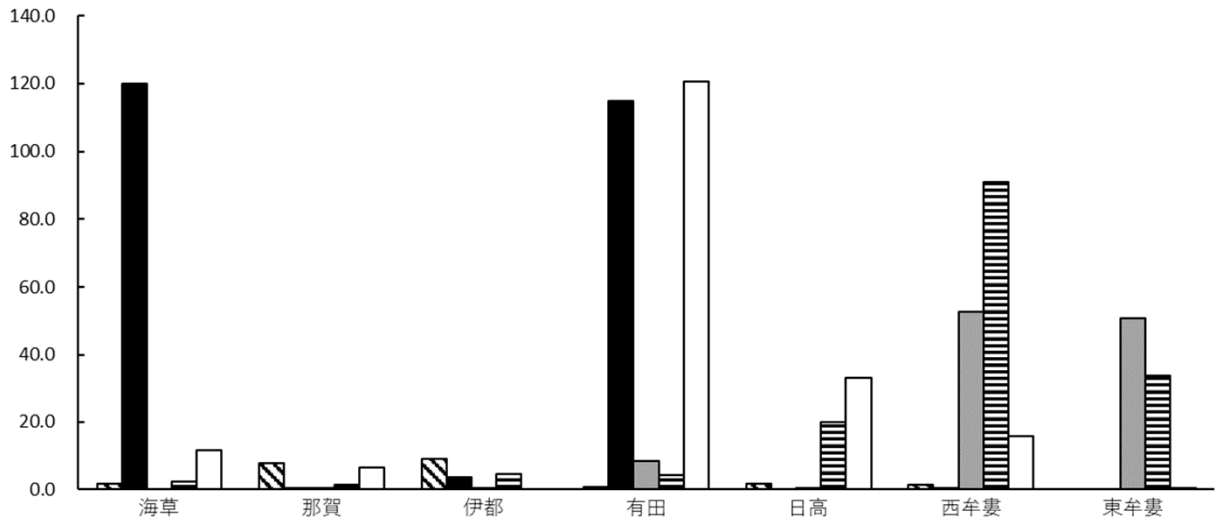


	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年	令和1年	令和2年	令和3年
■ くり(t)	26	53	75	33	15.9	8.9	11.1	12.3	19.4	22.8
■ さんしょう(t)	109	47	83	206	386.1	646.8	397.9	351.6	226.6	268.8
■ しきみ(t)	425	442	246	405	238.9	152.5	134.9	108.0	104.9	113.2
■ さかき(t)	472	414	265	140	90.2	184.2	201.0	195.7	160.9	157.7
□ ひさかき (びしゃこ) (t)	41.3	116.9	79.8	35.2	31.6	201.5	305.1	200.9	184.5	187.6

(ひさかき以外の平成2年～平成17年は四捨五入で整数にしている。)

地域別・その他の特用林産物生産量 (令和3年)

(t)



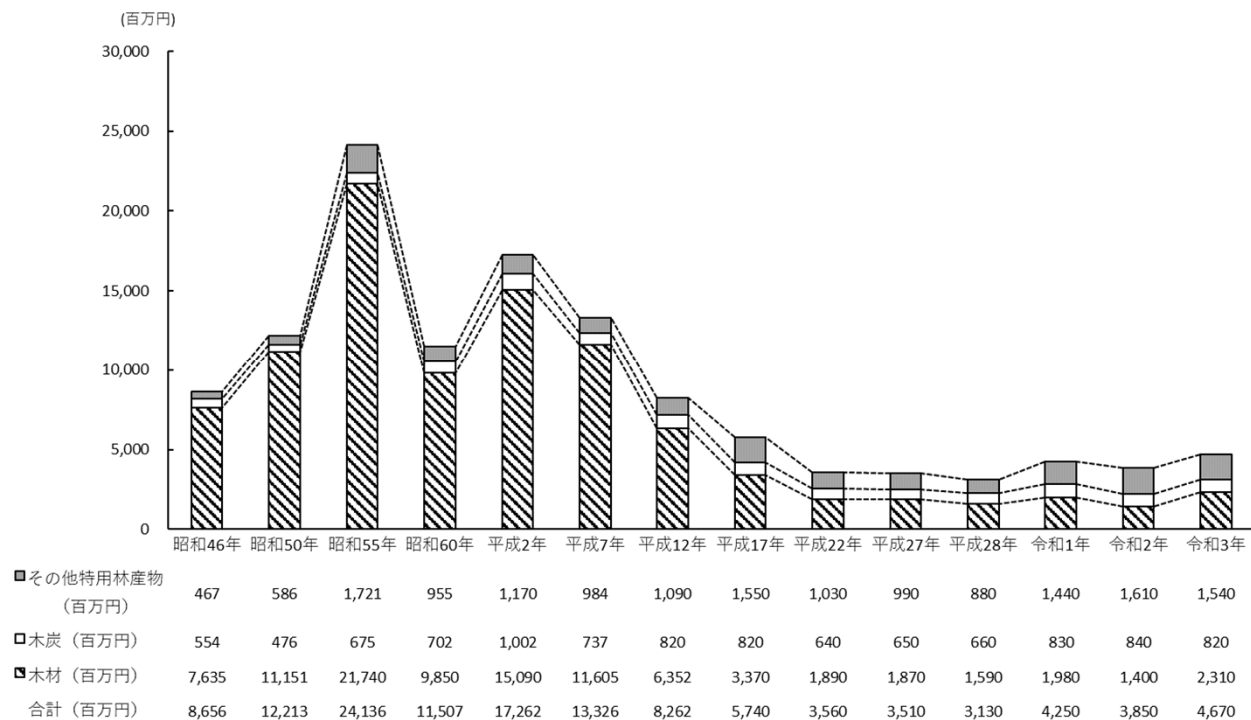
	海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
■ くり(t)	1.8	7.8	9.1	0.9	1.7	1.4	0
■ さんしょう(t)	119.8	0.2	3.7	114.8	0	0.3	0
■ しきみ(t)	0	0.1	0.5	8.5	0.6	52.8	50.7
■ さかき(t)	2.5	1.5	4.6	4.3	19.9	91.1	33.7
□ ひさかき (びしゃこ) (t)	11.5	6.5	0	120.7	33.0	15.7	0.1

(県林業振興課業務資料)

4) 林業産出額

素材価格がピークであった昭和55年から減少後、平成27年以降からは増加傾向にある。令和3年は昨年（令和2年）減少していたこともあり、昨年と比較して、8億円増加している。

林業産出額の推移



(林業産出額)

林業産出額

令和3年	全国	和歌山			全国順位		
	産出額 (千万円)	産出額 (千万円)	順位	シェア(%)	1位	2位	3位
総計	48,394	467	28	1.0	長野	新潟	北海道
木材生産	26,655	231	30	0.9	宮崎	北海道	大分
特用林産物	21,739	236	23	1.1	長野	新潟	福岡

(林業産出額)